

1・2号機廃棄物処理建屋内における水漏れについて

平成18年3月8日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

平成18年3月7日午後11時45分頃、1・2号機廃棄物処理建屋内2階の洗濯廃液ろ過器室において約49リットルの水が漏れていることをパトロール中の運転員が確認しました。その後、同建屋内1階の濃縮洗濯廃液バルブ室で約1.8リットル、地下2階の洗濯廃液系再使用水ポンプ室内で約2リットルの水漏れを確認しました。いずれもファンネル（排水口）のまわりの漏えいで、管理区域内にとどまっており、確認した時点ですでに漏えいは止まっていました。

また、同建屋内地下2階の濃縮洗濯廃液ポンプA/B室内に水漏れの跡を確認しました。漏えいしたファンネルはすべて繋がっております。

なお、これらファンネルの上流にある2階の洗濯廃液ろ過器のドレン弁（通常閉）が開いていたため、現在はこれを閉めております。

漏れた水の放射エネルギーを調べたところ、2階の漏えい水については 7.7×10^4 ベクレルであることを確認しました。1階および地下2階の漏えい水については、放射能は検出されませんでした。

今後、原因について調査し、必要な対策を講じます。

なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。

以上

「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」（平成15年11月10日お知らせ済み）における、区分Ⅲに該当するものとしてホームページに掲載したものです。